

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2001-3940 (P2001-3940A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 9 日 (2001.1.9)
 【出願番号】特願 2000-118852 (P2000-118852)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 33/20 (2006.01)

F 1 6 C 17/02 (2006.01)

G 0 2 B 26/12 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/20 Z

F 1 6 C 17/02 A

G 0 2 B 26/10 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】動圧軸受構造および偏向走査装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スリーブと、該スリーブに回転自在に嵌合する棒状軸とを備えており、前記スリーブおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方が動圧発生溝を有し、前記スリーブおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方の嵌合面に電着塗装膜が設けられていて、前記電着塗装膜が、樹脂に潤滑性をもつ無機物微粒子を分散させた膜であることを特徴とする動圧軸受構造。

【請求項 2】 電着塗装膜が、前記スリーブ上に設けられた化成処理膜の上に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の動圧軸受構造。

【請求項 3】 前記化成処理膜が、めっきによって形成される導電膜であることを特徴とする請求項 2 記載の動圧軸受構造。

【請求項 4】 請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項記載の動圧軸受構造と、スリーブと棒状軸のうちの回転する方に設けられた光束を偏向走査する偏向走査手段とを有する偏向走査装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、動圧発生溝を有する動圧軸受構造と、その動圧軸受構造を有する偏向走査装

置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は上記従来の技術の有する未解決の課題に鑑みてなされたものであり、棒状軸やスリーブの少なくとも一方の嵌合面に耐摩耗性を向上させる電着塗装膜を形成することで摩耗粉の発生を回避して、すぐれた軸受性能を長期間維持できる安価で高性能な動圧軸受構造および偏向走査装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために本発明の動圧軸受構造は、スリーブと、該スリーブに回転自在に嵌合する棒状軸とを備えており、前記スリーブおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方が動圧発生溝を有し、前記スリーブおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方の嵌合面に電着塗装膜が設けられていて、前記電着塗装膜が、樹脂に潤滑性をもつ無機物微粒子を分散させた膜であることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】